（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	きらりはーと浦添校

公表日　　令2年　5月　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	使わない週末(休業週末など)は適切な場所に保管し、スペースを広く活用できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	人員基準以上の職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーかや情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4		エレベーターやスロープなどの設備はないが、低いすや段に不自由な子が在籍していないため改善はしていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6	0	訓練室はよく使えるよう段差や死角を作らないようにしている。清掃は毎日行い、子どもたちが過ごしやすい環境を作るようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	勉強や気持ちの切り替え後、一人の空間が欲しい場面に置いて個別の部屋を使えるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	MTGで時間・時代について話し合い実行い、週に一度の流れで年に評価している。日々の振り返りは朝夕時共同で行い、明日以降の改善に繋げられるようにしている。	
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	事業所の評価をもとに、職員で会議をし、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の振り返りやMTG等で職員から意見が出た際には、その内容を業務改善に繋げられるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		行っていないが、保護者から頂く声で必要な改善を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に体操勉強の研修を取り入れたり、本部からの案内で研修に参加する機会が確保されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	契約時に、アセスメントシートに記入をしていただき、子の課題面・親や療育面から分析し、職員間でMTGを行った上で、計画を立てている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全員でMTGを行った上で、支援計画を立てている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児童発達支援計画作成後、全職員に共有し、計画に沿った支援を適時できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマル、インフォーマルどちらも活用し確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な課題が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援計画を立てる際、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の項目に沿って計画を立てている。支援計画に沿って支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員間で療育活動の話し合いを持ち、週ごとのプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	活動プログラムが固定化しないよう週ごとに療育内容を変更し、季節に合わせた療育などを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動、集団活動を組み合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	午前の時間を活用し、その日の支援内容や役割分担をして支援に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	業務終了後にMTGを行い、振り返り、次回に向けた取り組む事を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の支援してきた記録をまとめており、支援の改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	各関係機関の会議では、主に児童発達支援管理責任者が出席するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4		現在、地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制は整えられていない。今後は連携した支援ができるようにしていく。
	26	就行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	移行に向けて、各関係機関と会議を行い、該当児の支援内容を情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学先との支援内容などの情報共有は、進学後に会議を通して行っている。	
		（28～30は、センターのみ回答）				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、職種的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（保育所等訪問支援）こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ継続的に参加しているか。				
		（31は、事業所のみ回答）				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		児童発達支援センターとの横のつながりを増やしていき連携を取りながら助言等を受ける機会を設けていきたい。
	32	保護所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		公園等で地域のこどもたちと関わる場面も見られるが、関わる機会は少ない。イベント等を通して関わる機会を作っていけたらと考えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡やお便り帳などを活用してこどもの様子をお伝えし、保護者とこどもの発達状況や課題について共通理解している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		事業所で家族保が参加でき研修などは行うことができていないが、地域で家族向けの研修などがある際は研修の情報共有を行っている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に、保護者と確認をしながら行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の観点考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6	0	連絡や会議を通して保護者からこどもについて気になることや要望、困ったなどと思いいることなどの意向を もとに、児童発達支援計画の作成をすている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者に説明し、児童発達支援計画の同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	連絡やお便り帳を通して保護者の困りごとについて話し合い、必要に応じて助言を行っている。	
	39	父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		今後保護者との交流会も企画していき保護者同士での横のつながりを強くできるように支援していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	即対応を心掛け、職員間でも共通認識として話し合いを設け、適切に対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月カリキュラムの予定と会報を発行し、お知らせしている。また、毎週SNSを通してこどもたちの様子を周知している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報名簿同意書を確認し、写真掲載に関しても同意書をもらっている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	個別での対応を行い、子に対して適切に対応できるよう職員間で共有している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域と交流する機会が年に数回しかない（ハロウィンなど）ため、保護者や地域の方と連携して、機会を増やしていきたい。
非常時等の対応	45	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	職員間で共有しており、保護者にも契約時に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	半年に一度、避難訓練を行っている。消火器を使用した火消の訓練も取り入れている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に利用児の状態をアセスメントツールにて把握し、職員全体で共通理解をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者と連携し、完全除去で対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	4	2	マニュアルを作成している。定期的に研修受講をしており、職員間での共有も行っている。緊要新し、時を作成していく。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	2	事業所での安全に対する取り組み内容を保護者にも共有している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリと思う事態がある時に作成し職員間で共有。改善策について話し合いを行い次に活かすようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	マニュアルを作成している。定期的に研修受講をしており、職員間での共有も行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	やむを得ない（利用児の危険に関わる）身体拘束等、職員間で周知徹底し、体験や契約時に保護者へその旨を伝えている。	